

製品名: PRMT5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03978**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:73 kDa;Observed MW: 73 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRMT5
別名	HRMT1L5; IBP72; JBP1; SKB1; SKB1Hs; PRMT5; Skb1Hs Methyltransferase
遺伝子 ID	10419
SwissProt ID	O14744
免疫原	ヒト PRMT5 の合成ペプチド

背景

Cdc28p をリン酸化・阻害するタンパク質チロシンキナーゼである Swe1p を負に制御することにより、細胞周期の G2 期進行の制御

に関与する。Hsl7p ホモログである Skb1 は、p21 (cdc42p/Rac) 活性化キナーゼ (PAK) である Shk1p との酵母ツーハイブリッド相互作用により、分裂酵母において同定された。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ

PRMT5 抗体を使用した HepG2、HeLa 溶解物中の PRMT5 のウエスタン ブロット分析。

